

認知症の症状とサービスなどの流れ

認知症の状態や症状など、経過に応じて利用できる支援・サービスは異なります。経過がどの段階なのかを確認して、最も適したサービスや必要な医療を受けるようにしましょう。



右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態

	健康な状態	軽度認知障害 (認知症の疑いがある)	軽度 (誰かの見守りがあれば日常生活はほぼ自立)	中等度 (手助け・介護が必要)	重度 (常に介護が必要)
本人の様子 (病状や行動例)	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活習慣や適度な運動習慣を心がけましょう。 認知症について正しい知識や理解を深めておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れの自覚が出てくる。 新しいことがなかなか覚えられない。 もの忘れがあるが、金銭管理や買い物など日常生活は自立している。 	<ul style="list-style-type: none"> 金銭管理や服薬管理が難しくなる。 同じことを何回も聞く。 今までできていたことにミスが目立つ。 不安やうつ状態、イライラ等がみられることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 着替えや食事、トイレ等がうまくできない。 自宅がわからなくなる。 日にちや時間がわからなくなる。 季節に合った服が選べない。 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難。 言葉でのコミュニケーションが難しくなる。 身の回りのことができない。 家族や身近な人のことがわからなくなる。
相談	地域包括支援センター，認知症初期集中支援チーム，大子町役場福祉課，在宅介護支援センター，居宅介護支援事業所，社会福祉協議会，認知症カフェ				
介護予防	地域での活動，老人クラブ，ふれあい・いきいきサロン，シルバーリハビリ体操教室，だいき健康アドバイザー教室		元気アップ教室，認知症サポーター養成講座		
医療	健康診査，かかりつけ医，認知症初期集中支援チームサポート医		かかりつけ医，往診，訪問歯科診療，訪問看護，訪問薬剤師，物忘れ外来，精神科，認知症疾患医療センター，サポート医		
生活支援	みまもりサービス（電話・訪問），あんしんコール，緊急通報システム				
生活支援	日常生活自立支援事業（金銭管理等）		成年後見制度，おかえりマーク		
	地域支え合いサービスセンター事業「さとも」				
家族支援	地域包括支援センター，社会福祉協議会，在宅介護者の集い，認知症カフェ，介護用品事業（宅配・購入費助成），在宅介護慰労金（※支給要件あり）				
住まい	自宅（住宅改修，福祉用具貸与／販売），有料老人ホーム，養護老人ホーム				
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム），介護老人保健施設，介護老人福祉施設				



